部会プログラム

日本史部会

古代史部会　法文二号館一番大教室

研究発表（午前九時～一二時三〇分）

1 評官人・郡司の任用と大宰・総領制　井上　正
2 奈良時代の僧綱下級職員の一考察　國上貞村
3 八世紀の王権と内臣　谷田　淑
4 日本・新羅の対外関係と東部ユーラシア——天平四年・六年を中心として——　堀井佳代子
5 八・九世紀の遣外使節の待遇——遣唐使を中心に——　龔　小林
6 平安京の空間認識　井上理恵
7 日本古代における挙哀儀礼の展開　康　婷

中世史部会　法文二号館一番大教室

研究発表（午後一時三〇分～四時三〇分）

1 中世禅宗における舎利奇瑞譚と門派形成　白川　宗
2 唐宋時代の台禅論争と虎関師錬の『済北集』　源　永
3 南北朝期における武士団構造　山　昊
4 年貢散用状の記載から見る庄園支配の変質——東寺領播磨国矢野庄を事例にして——　青木　貴
5 戦国期の朝廷と武家　森　史
6 足利義澄の自立と禅僧——細川京兆家昵近僧の動向をめぐって——　高　成
7 花街の統制——幕末における京都北野上七軒の営業規律を中心に——　鳥　廉

近世史部会　法文一号館二六番教室

研究発表（午前一〇時～一二時一五分）

1 文化期から天保期までの日本における西洋情報の収集　クドヤーロフ　ウラジーミル
2 江戸幕府御家人の「キャリア戦略」　戸森麻衣子
3 嘉永・安政期の「幕末薩摩国産錫にみる幕藩関係」　福元啓介　中原逸郎
4 花街の統制——幕末における京都北野上七軒の営業規律を中心に——　牧原成征

シンポジウム「近世の地方都市」（午後一時一五分～五時一五分）

司会・趣旨説明　多和田雅保
報告
1 信州の諸都市と市場　塩川隆文
2 近世宇和島における芸能興行　酒井一輔
3 近世後期関東在方町における「町」財政の運営と構造
討論

近現代史部会　法文一号館三一二番教室（午前一〇時～午後一時）

研究発表　第一会場

1 「寛典」が求められるとき——明治二年因州藩における凱旋将兵の無断解隊事件に見るその顚末——　藤澤　匡樹
2 駐露公使榎本武揚の情報活動と対外認識の形成　草野藤三郎
3 山県有朋の明治一九年沖縄視察について　泰平
4 バルカン戦争における参謀本部の情報活動——欧州外交関係の分析に着目して——　宏
5 陸軍の日中戦争決方案と日米諒解案の作成　ウグル・アルトゥン
6 戦後失業対策事業・失対労働者における在日朝鮮人　アン・ジェイク

研究発表　第二会場

1 西南戦争の世界——西郷隆盛という役者——　杉本弘幸
2 明治初期の「諷刺画」——三府開港場諸県を中心に——　高橋未来
3 明治初期の「錢貨」税の運用　崎島達矢
4 明治前期の史誌編纂　福田真人
5 地方税寄付収入の議定権問題——三新法から府県制へ——　佐藤大悟
シンポジウム「戦後史のなかの「国家神道」」　法文二号館二番大教室（午後二時～五時三〇分）

司会・趣旨説明　袁　甲幸
シンポジウムはなにを考えようとしているのか
報告
1 「国家神道」概念の近現代史　山口　輝臣
2 村上重良「国家神道」論再考　藤田大誠
3 戦後憲法学における「国家神道」論の現状をどう見るか　昆野伸幸
4 「国家神道」論の現状をどう見るか　須賀博志　苅谷直穣　部川
コメント
討論

東洋史部会　法文一号館一一三番教室

研究発表（午前一〇時～一二時）

1 漢初における符の下賜——中国古代帝国の支配構造解明のために——　荘　卓鱗
2 漢から新にかけての匈奴対策及び王昭君一族の外交的寄与　菅沼愛語
3 後漢地方官制における本籍回避の再検討　新津健一郎
4 漢魏地方官任用の地域差と地域社会——「状」と人事制度の関係から——　中本圭亮
5 唐太宗の「聖教序」——御製と「聖」皇帝の諡号伝承について——　山内敏輝
6 安禄山と張守珪、史思明と烏知義——皇帝権の正統性をめぐって——　速水大
7 宋代における福建沿海部の信仰空間——正統性の獲得と関連して——　王燕萍
8 一七・一八世紀の清水祖師信仰を手掛かりとして——泉州のタヴィアにおけるアヘン消費と流通——　大久保翔平
9 政庁による「マダット」禁止令をめぐって——　殷暁晴
10 邸報の発行と流通からみた清朝中央情報の伝播——マンギト朝における君主号の変容——ハンからアミールへ——　木村
11 中華民国初期における華僑参政権と在米中国人——一九一二年から一九一三年を中心に——　吉田晋也
12 南京国民政府時期における刑事上訴制度　久保茉莉子

西洋史部会　法文一号館二一五番教室

研究発表（午前一〇時～一二時）

1 一万人」の規律と統制——クセノフォーン『アナバシス』試論——　宮﨑亮
2 古代ローマにおける庭園とその空間　川本悠紀子
3 一三世紀前半の都市トリーアにおける統治機構の展開　簗田航子

研究発表（午後一時～三時四〇分）

4 一二世紀イングランドにおける教会裁判手続と国王裁判手続——コモン・ローの形成に対するカノン法の影響の一側面——　苑田亜矢
5 三王国戦争期ブリテンでの被害者供述書出版——ブリティッシュ・ワールドにおける属領インド——　槙野翔
6 福音主義と自由主義的帝国主義のヴィジョン——日露戦争下でのベルリン和独会による義捐活動の実態——　竹内真人
7 ドイツ語月刊誌*Ost-Asien*を手がかりに——　堅田智子

日本古代史部会第１報告は
都合により取り止めとなりました